

2017年度連結決算 説明資料



2018年4月27日
東邦ガス株式会社

目 次



1. 2017年度決算の概要	3
2. 2018年度の見通し	10
<トピックス> 自由化時代における取り組み	14
<参考> 中期経営計画目標の進捗	18

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1. 2017年度決算の概要

(1)まとめ

- ガス販売量は4,024百万m³、対前年1.2%増
LPG販売量は465千トン、同2.6%増
- 売上高は4,288億円、対前年9.8%増
経常利益は252億円、同2.9%増

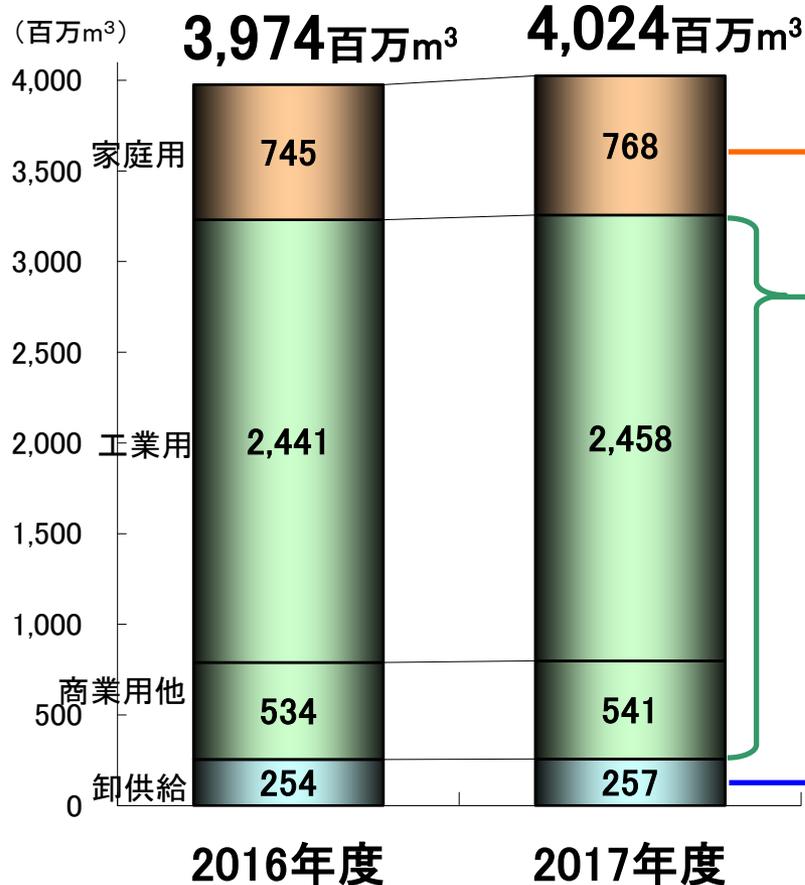


(2)お客さま数・販売量(2017年度)



TOHO GAS

取付メーター数 2,434千件 → 2,463千件 (+1.2%)



都市ガス

+50百万m³ (+1.2%)

家庭用 +23百万m³ (+3.1%)

気温影響などにより増加

業務用 +24百万m³ (+0.8%)

需要開発などにより増加

卸供給 + 3百万m³ (+1.0%)

LPG

お客さま数 ※ +2.3% : 479千件 → 490千件

※ 配送受託件数含む

販売量 +2.6% : 454千トン → 465千トン

電気

お客さま数 +65千件 : 22千件 → 87千件

平均気温 (対前年比較)	上期	下期
	22.9°C (△0.5)	9.1°C (△0.7)

(3) 収支状況(2017年度)

単位: 億円



	2017年度	2016年度	増減	増減率	計画 (3Q決算時)	増減
ガス販売量 (百万m ³)	4,024	3,974	50	1.2%	4,011	13
売上高	4,288	3,904	384	9.8%	4,280	8
売上原価	2,716	2,304	411	17.9%	—	—
供給販売費 一般管理費	1,331	1,367	△ 35	△ 2.6%	—	—
経常利益	252	244	7	2.9%	250	2
親会社株主に帰属 する当期純利益	180	177	2	1.5%	180	0

(注) 原油価格(全日本CIF) : 2017年度 57.0ドル/バレル、2016年度 47.5ドル/バレル (9.5ドル高)
 為替レート(TTM) : 2017年度 110.9 円/ドル、 2016年度 108.4 円/ドル (2.5 円安)

(4) 経常利益 増減要因(2017年度)



TOHO GAS

◆ 対前年

経常利益(244億円⇒252億円) + 7億円

■ ガス販売量の影響 + 35億円

■ スライドタイムラグの影響 △ 40億円
(2016年度 △20億円 ⇒ 2017年度 △60億円)

■ その他 + 12億円

(5) 経常利益 増減要因 (2017年度)



TOHO GAS

◆ 対計画 (3Q決算時)

経常利益 (250億円 ⇒ 252億円) + 2億円

■ ガス販売量の影響 + 25億円

■ スライドタイムラグの影響 + 20億円
(計画 Δ 80億円 ⇒ 実績 Δ 60億円)

■ その他 Δ 42億円

(6) 財政状況(2017年度)

単位: 億円



	2017年度	2016年度	増減
--	--------	--------	----

総資産	5,412	5,329	83
-----	-------	-------	----

(投資有価証券
評価益)

(573)	(517)	(55)
-------	-------	------

純資産	3,262	3,068	194
-----	-------	-------	-----

自己資本比率	60.3%	57.6%	2.7 ポイント
--------	-------	-------	-------------

有利子負債	1,121	1,149	△27
-------	-------	-------	-----

ROA	3.4%	3.3%	0.1 ポイント
-----	------	------	-------------

ROE	5.7%	6.0%	△0.3 ポイント
-----	------	------	--------------

	2017年度	2016年度	増減
--	--------	--------	----

営業CF	570	372	197
------	-----	-----	-----

投資CF	△433	△579	146
------	------	------	-----

(フリーキャッシュフロー)	(137)	(△207)	(344)
---------------	-------	--------	-------

財務CF	△122	△229	107
------	------	------	-----

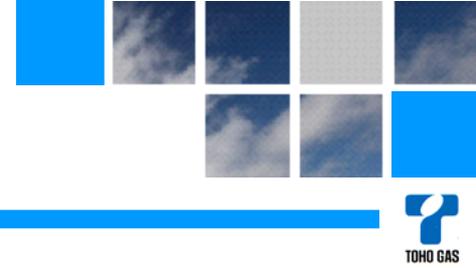
現預金の増減額	13	△438	451
---------	----	------	-----

現預金期末残高	178	164	13
---------	-----	-----	----

設備投資額	396	492	△96
-------	-----	-----	-----

減価償却費	359	354	4
-------	-----	-----	---

(7) 株主還元



〔方針〕

- 安定配当を基本
- 自己株取得を状況に応じて機動的に実施

- 2017年度期末配当を27.5円に増配予定
(2017年度は通期で52.5円※、2018年度は55円を予定)

＜参考＞株主還元

単位：億円

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
配当総額 (1株あたり配当※)	44 (40円)	46 (42.5円)	49 (45円)	49 (45円)	51 (47.5円)	54 (50円)	53 (50円)	55 (52.5円)

※ 2017年10月1日実施の株式併合の影響を考慮した金額

2. 2018年度の見通し

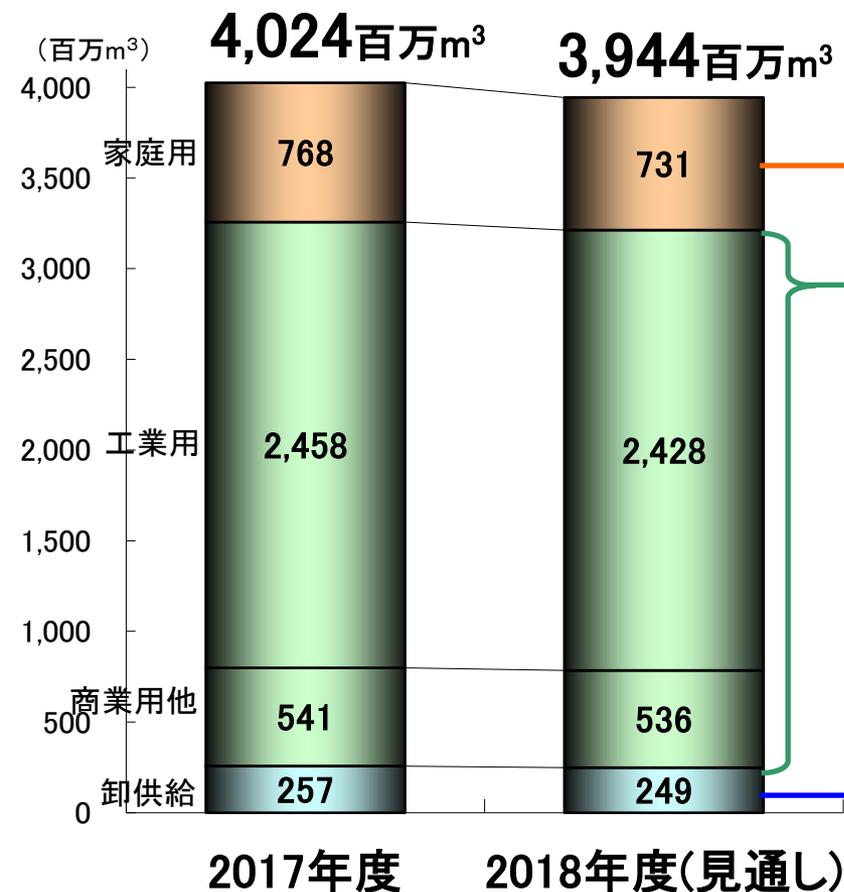
(1)まとめ

- ガス販売量は対前年2.0%減の3,944百万m³、LPG販売量は同0.2%増の466千トンを見込む
- 原油価格70ドル/バレル、為替レート110円/ドルの前提で、売上高は対前年8.0%増の4,630億円、経常利益は同4.8%減の240億円を見込む

(2)お客さま数・販売量(見通し)



取付メーター数 2,463千件 → 2,482千件 (+0.8%)



都市ガス Δ80百万m³ (Δ2.0%)

家庭用 Δ37百万m³ (Δ4.8%)

業務用 Δ35百万m³ (Δ1.2%)

卸供給 Δ 8百万m³ (Δ3.2%)

LPG

お客さま数 ※+0.8%:490千件 →494千件

※ 配送受託件数含む

販売量 +0.2%:465千トン→466千トン

電気

お客さま数 +53千件:87千件 →140千件

平均気温	16.0°C	16.5°C	+0.5°C
------	--------	--------	--------

(3) 2018年度の見通し

単位: 億円



	2018年度 見通し	2017年度	増減	増減率
ガス販売量 (百万m ³)	3,944	4,024	△80	△2.0%
売上高	4,630	4,288	341	8.0%
経常利益	240	252	△12	△4.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	170	180	△10	△5.7%
設備投資額	365	396	△31	△7.9%
減価償却費	365	359	5	1.5%

【前提】

(単位: \$/bbl、円/\$)

【感応度(年間)】

	2018年度	2017年度(実績)	増減
原油価格	70	57.0	13.0
為替レート	110	110.9	△0.9

	原材料費	粗利益
原油価格 1\$/bbl	22億円	6億円
為替レート 1円/\$	14億円	4億円

(4) 経常利益 増減要因(見通し)



◆ 対前年

経常利益(252億円⇒240億円) △ 12億円

■ ガス販売量の影響 △ 30億円

■ スライドタイムラグの影響 △ 10億円
(2017年度 △60億円 ⇒ 2018年度 △70億円)

■ その他 + 27億円

<トピックス> 自由化時代における取り組み



TOHO GAS

基本スタンス

地域に根差したエネルギー事業者として
エネルギーとその周辺事業を強化



主要施策

- ①強靱な都市ガス事業の構築
- ②トータルエネルギーシェアの拡大
- ③新規事業も含めたグループ事業の成長

①強靱な都市ガス事業の構築

■ 供給基盤の拡充

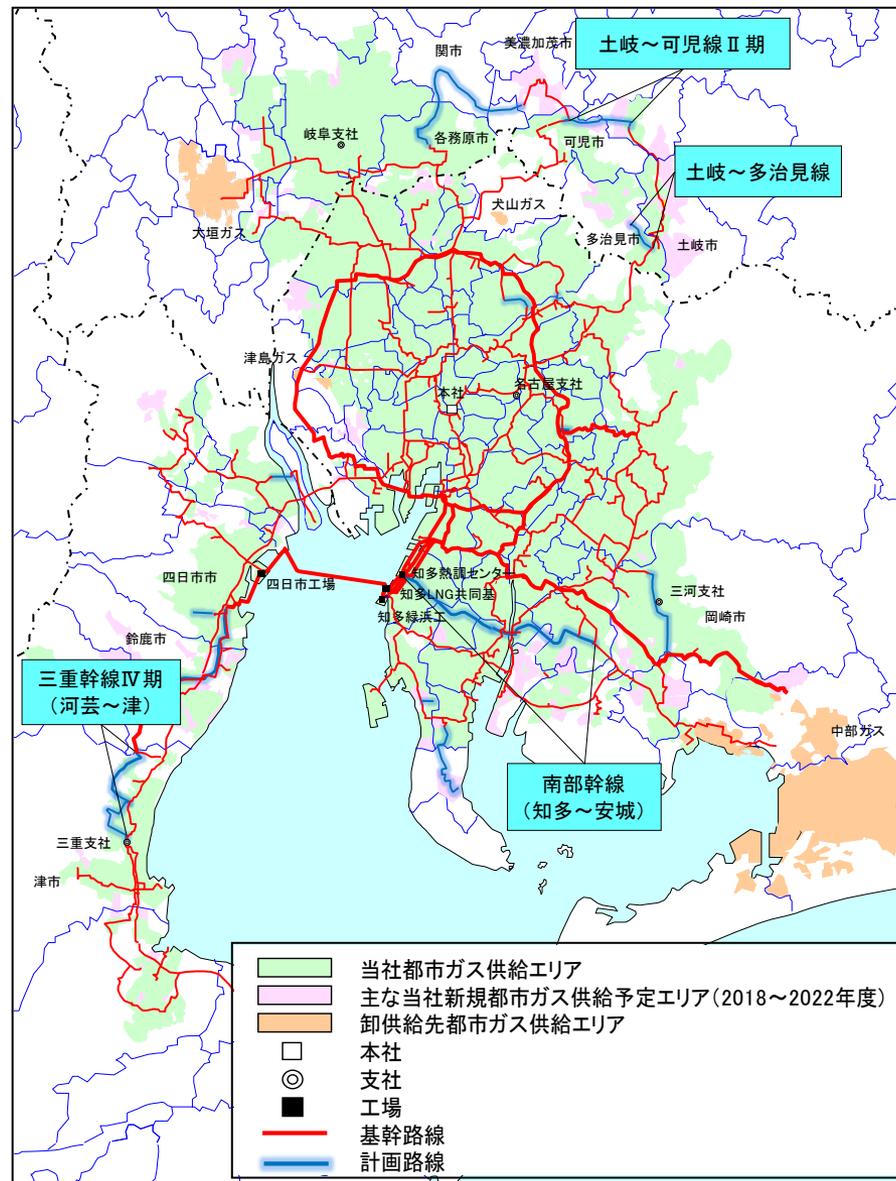
- 基幹路線の建設
- 都市ガス供給エリアの拡大

■ 保安・防災対策の推進

- 高経年化対策
- 災害対策体制の強化

■ 競争力の強化

- 原料調達が多様化、LNGの受入柔軟性向上
- 経営効率化の推進



②トータルエネルギーシェアの拡大

都市ガス

2017年度 2,463千件→2018年度(見通し) 2,482千件

- ▶ 180拠点を総勢3,000人体制で、ガス機器修理等のお困り事に速やかに対応
- ▶ グループ会社・ENEDOが一体となり、各種サービス・リフォーム提案を行うことにより、お客さまとの関係を深化
- ▶ 東海地区最大級の体験型厨房ショールーム「プロ厨房オイシス」を開設(2018年9月)



LPG

490千件→494千件

- ▶ 東海3県に加え、より広いエリアでの需要開発を推進
- ▶ 他事業者との連携による充てん・配送ネットワーク強化

電気

87千件→140千件

- ▶ 電力調達・需給管理を一元的に担う「電力事業推進部」の設置
- ▶ 幅広い事業者からの卸取引や市場調達の組み合わせ

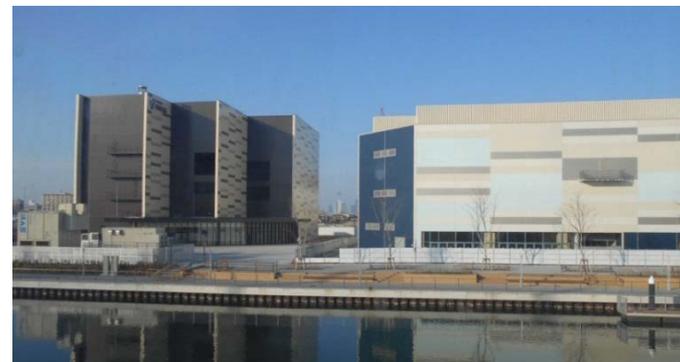
③新規事業も含めたグループ事業の成長



TOHO GAS

■ 地域への新たなエネルギー供給

- 「みなとアクルス」において、ガス・電気・熱を一括供給するスマートタウンを構築(2018年9月まちびらき)
 - ✓ CEMSを活用し、国内最高水準のエネルギー効率を実現
 - ✓ 災害時には、エリア内のライフライン機能を維持、港区役所等にも非常用電力を供給し、地域の防災活動を支援
- 松阪市などと共同で設立した「松阪新電力」からの電力供給開始(2018年3月)
 - ✓ 地域の活性化、エネルギーの地産地消に貢献
 - ✓ 今後も、行政との連携事業などを検討



エネルギーセンター(左)とららぽーと(右)
(スマートタウン「みなとアクルス」内)

■ 新規事業の開発

- 国内における「安全・安心サービス」、「地域活性化支援」、「エネルギー高度利用」の3分野を中心とした事業創出と、海外での事業機会の発掘
- 「事業開発部」を新設

<参考> 中期経営計画目標の進捗



TOHO GAS

		2017年度	2018年度 (見通し)	増加率	中計目標 2018年度	2013~18年度 平均伸び率	ビジョン目標 2022年度
お客さま数	天然ガス※1	246万件	248万件	+0.8%	246万件	+0.8%	250万件
	LPG※2	49万件	49万件	+0.8%	48万件	+1.8%	50万件
販売量	天然ガス※3	41億m ³	40億m ³	△1.9%	45億m ³	+2.2%	50億m ³
	LPG	47万トン	47万トン	+0.2%	47万トン	+2.3%	50万トン

※1 取付メーター数

※2 配送受託件数を含む

※3 LNG販売分を含む

	前回中計平均 (2009~13年度)	2017年度	2018年度 (見通し)	中計目標 2018年度	ビジョン目標 2022年度
営業キャッシュフロー	482億円	570億円	540億円	580億円	600億円
D/Eレシオ	0.7	0.3	0.3	1.0以下	1.0以下
ROA	2.1%	3.4%	3%程度	3%程度	3%以上